

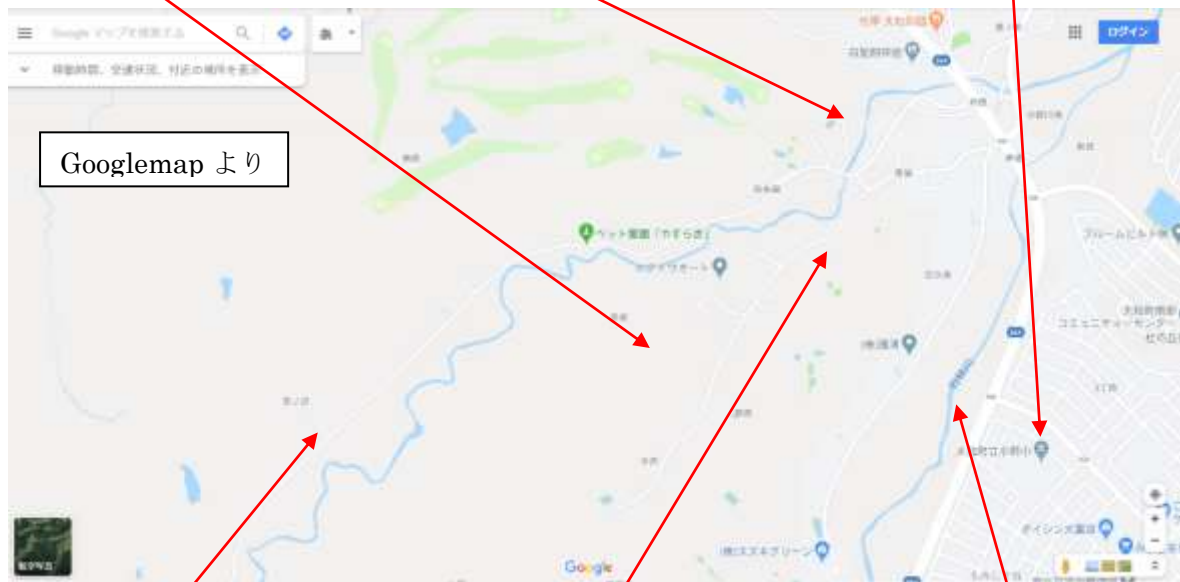


未来を夢見て

2020/7/21 No. 24

昔を今にⅢ ふるさと小野とわたしたち タモリさんになった気分で

タモリさんになった気分で、ブラッと「小野地区」を回ってみました。里山があって、水が豊富で、この地で生きてきた人々の息吹を少しだけ感じることができました。コミセン（旧宮床小学校小野分校）から見える現小野小の象徴的存在の三角屋根に、時代の移ろいを感じました。



調べてみると、小野地区の前川原には北仙台～中新田間を走った軽便鉄道の「黒川小野駅」があった、と記されています。地図を手がかりに、どこを通過していたのかを考えさせると面白いですね。また、校歌にもある水芭蕉の生息地が芦ノ沢にひっそり佇んでいます。117年続いた小野分校の閉校記念誌には、当時の小野分校の子供たちがこの豊かな自然をそして水芭蕉を自分たちの誇り、学校の自慢として生活していたことが記されていました。特に平成2年の「ふるさと学習（創意の時間）」では、年間を通して自然観察を取り入れたり、小野の民話を素材にした音楽劇に取り組んだりするなど、地域の特色を生かした活動が行われていたことが記録されていました。小野地区初心者の中には、まだまだ知らないことがたくさんあるようです。

もしタモリさんがブラッとこの地を訪れた時に、何か1つでも紹介できるようになりたいものです。

【参考文献】『先人の祈り 小野地区の史跡』 平成24年大和町小野地区歴史保存会

『小野分校閉校記念誌 おもいで 小野っ子117年のあゆみ』

(文責：手代木)